



広報せき

# Seki Gocoro

2022  
04

No.1734

巻頭特集 アクティブGメン

ACTIVE  
G MEM 75



Seki Gocoro 04

## TOPICS

新型コロナウイルスワクチン.....7P  
マイナポイント「第2弾」.....11P  
INFORMATION.....16-36P  
子育てカレンダー.....39P

# G ACTIVE MEM 75

ACTIVE—アクティブシニア

G—元気(Genki)

MEM—メンバー

75—健康寿命75歳以上を目指す

## Gメンの知識と経験が地域を救う

主役は「みなさん」です。

「アクティブシニア」

は、「自分なりの価値観を持ち、定年退職後も趣味や様々な活動に意欲的な元気なシニア層」のことです。市では「アクティブGメン」75※(以下Gメン)を結成し、アクティブシニアがあふれるまちを目指しています。

Gメンの主な取組は3つ。「保育」「木育」「農業」です。保育園の野外活動の見守り、地域の木育ワークショップのサポート、野菜づくりなど、地域で活躍するための市主催のセミナーを開催しています。

社課の生涯現役支援員(写真下)が優しくサポートするので、安心して取り組むことができます。セミナーで学んだ知識は地域で活かせるよう、活躍の場づくりまで一連の流れになっています。

セミナーは、10人程度のグループで月に2回ほど開催。メンバーと協力しながら進めていきます。

みなさんもセミナーを受講し、Gメンとなり仲間と共に学び、地域で楽しく活動しましょう。

趣味や特技を活かして貢献するもよし、新たな楽しみを見つけるもよし！皆さんの参加をお待ちしています。

### 募集セミナー 農業

LET'S TRY!

## 野菜づくり入門

**日程** 4月20日(水)~10月末  
午前9時~11時  
全10回程度、水曜日開催

**場所** 小野構造改善センター付近の畑  
(関市小野1089)

**対象** 市内在住の50歳以上

**定員** 10人

**申込期間** 4月1日(金)~8日(金)

**申込先** 高齢福祉課(☎23-9007)

### Gメンをサポートする生涯現役支援員

- **アクティブシニアの養成**  
知識や技術を取得するためのセミナーを企画
- **地域で活躍できる場所を見つけ、マッチング**  
民間事業者、団体などと連携して、活躍できる場をマッチング



生涯現役支援員の田島佳美(左)と吉田理恵(右)  
高齢福祉課の窓口でお待ちしています。



GメンのPR動画は「こちら」



【SDGs】この活動はSDGsにつながっています。[3] すべての人に健康と福祉を、[11] 住み続けられるまちづくりを



## G-PROFILE

**山田 壽** やまだ ひさし

77歳 / 趣味の木工おもちゃづくりを活かしたい

## CHILDCARE

# 保育

電池で動く列車、かわいぬいぐるみ、それらのおもちゃには目もくれず、子どもたちは、山田さんの持つてきた木のおもちゃに夢中だった。

子煩悩、好々爺、そんな言葉が似合う山田さんが、若かりし頃はバリバリの「昭和の男」だった。子育ては妻に任せ、仕事一筋に励んでいたという。仕事

が一段落したころには、我が子たちはすでに巣立ち、4人の孫も遠方に。

そんな折、広報で『保育セミナー』の募集記事を見つけ、すぐさま申し込んだ。セミナーでは、子育てに関する基本的なことを学ぶことができた。

「褒めることで子どもはいろんなことにチャレンジするようになる」セミナーで学んだことを、常に意識しながら活動している。

主な活動は、保育園や子育て支援センターに出向き、1〜3歳の子どもの見守ること。顔を隠さ

子どもたちの笑顔に元気をもらってます。

趣味である「木のおもちゃづくり」は「喜んでくれるかな」と子どもたちの

顔を思い浮かべ、時間を忘れて没頭してしまうという。「自分が得意な木のおもちゃを喜んでもらえた。自分の好きなものが活かせる場があることは本当にうれしい。みなさんも、ぜひ挑戦して」と呼びかける。

今後は「野外で一緒に遊んだり、新たな木のおもちゃをつくり、子どもたちの喜ばせたい」満面の笑顔でそう語る山田さんは、Gメンとしても楽しそうだ。



子どもたちから声をかけてくれる。

## 野外活動をサポート

富岡保育園  
園長

**長屋 美佳** さん

「森のようちえん活動」で子どもたちをやさしく見守っていただきました。Gメンの教える葉っぱや木を使った遊びに、子どもたちは大喜びでした。



【保育セミナー】保育現場の現状やリスクマネジメントをしっかりと学んだ後、園児の野外活動の見守りボランティアなどを行う。募集期間は10月から。

## G-PROFILE

須田 茂子 すだ しげこ

72歳 / 生まれ育った関市が好き

# 木育

MOKUIKU

「これ、先生に見てもらおうと思って持ってきたの」「自分で削り磨いた朴ノ木のスプーンをなでながら優しく笑う須田さんは、昨年から木育セミナーに参加している。スプーンは市販の物で十分だと思っていたが、自分で一から削り出し、ツルツルになるまで磨いてみると全然違った。これでおいしいものを食べた、大事に使っていききたいという愛着がわいてきたのだ。こういう体験や気持ちる他の人にも伝えたい、今はそんな気持ちで腕を磨いている。いずれは木工のイベントで、講師のアシスタントとして活動する予定だ。

須田さんは、生まれも育ちも関市千正。時代とともに変わるふる里を見てきた。もともと自然や木育に興味があったため、このセミナーに参加してその楽しさにすぐに目覚めた。

他のセミナー参加者から、刺激を受けることも多い。いろんな活動をやっている人がいて「私も頑張ろう」という気になれるという。

## 「自然を感じる。」

自然の中で、鳥のさえずりを聞き、虫と触れ合い、自分の生を実感してもらえる場になるように、木育をサポートできる存在になれたらうれしい、と照れながら語った。



1



2

1. セミナーは、仲間のサポートがあり、安心して学べる環境が整っている。

2. 子どもたちに小刀の使い方を教える。子どもが上手に削れるようになると、我がことのようにうれしい。

## 木工イベントをサポート

富岡ふれあい  
まちづくり委員会

三輪 博文 さん

地元の木材を使ったスプーン・フォークづくりのイベントでサポートしていただきました。Gメンの活躍が、地域にもいい影響を与えていると思っています。



【木育セミナー】小刀や紙やすりの使い方、砥ぎの方法などを学ぶ。実際に自分で削り出した小物は愛着も人一倍。募集期間は6月から。





G-PROFILE

**服部 幸典** はっとり ゆきのり

70歳 / 4年前に名古屋から移住

## AGRICULTURE

# 農業

そこでGメンの『農業セミナー』に参加し、肥料の撒き方など基本的なことを改めて学んだ。なにより、ほかのセミナー参加者から自分にはない「経験」を学べたことが大きかったという。この「経験」に自分

### 知識と経験。

前職が数字を扱う仕事だったこともあり、自分で農業を始めるにあたり、温度・湿度、水量、肥料、苗の間隔など数値化した知識を詰め込んだ。しかし、相手は自然。知識だけではうまくいかなかった。

80坪ほどある自宅の畑には、白菜、ブロッコリー、大根など：何種類もの野菜が元気に育っている。さぞかし農業に精通した人なのだろうと思いきや、野菜を育てているのは、4年前に退職して、名古屋でのマンション暮らしから武儀の中之保へ移住したという服部さん。

で数値化した知識をミックスした結果、「よく野菜が実るようになったね」と妻から褒められるほどの腕前になった。

参加者たちとの交流は服部さんの行動も変えた。「仕事をしていた頃は、地域の人とかかわりは少なかったんですが、今は、みんなとの会話が楽しみで通っている。」

セミナーでできた野菜は、子ども食堂に提供したり、幼稚園児と収穫体験をして持ち帰ってもらったりしている。「園児との収穫体験は、このセミナーに参加しなければできなかったこと。心を込めて育てた野菜を子どもたちに

### とれたて野菜を提供

いちょうの会 副会長 **亀山 つた子** さん

子ども食堂で、子どもたちにご飯を提供しています。いただいた野菜をみそ汁にすると、子どもたちのおかわりがとまりませんでした。



喜んでもらえたときは、うれしかった。さらに経験を積み、子どもたちに教えられるようになった」と笑顔で話す服部さんは、もうすっかり関の人だ。



1. 収穫した野菜は、子ども食堂や高齢者サロンなどへ提供している。
2. 園児との収穫体験。楽しいひと時。

【農業セミナー】種まきから収穫まで野菜づくりの基礎を学ぶ。活動は、園児との収穫体験、サロンへの食材提供など。詳細はP2。